

地域公共人材大学連携事業 News Letter

—創刊号
発行日 2009年4月1日

オール京都で

「地域公共人材」を育て

活用するために

——富野 暉一郎（龍谷大学法学部教授）

現代社会は、世界的に協働の時代とされています。政府に公共的活動を委ねるのではなく、地域社会の機関・団体・個人がそれぞれの特徴を生かして社会全体を支える協働型社会に必要な人材の育成は、これまでほとんど体系的に行われていません。今回京都の大学が中心となり、市民団体や行政及び経済団体及び大学コンソーシアム京都の連携によって進められる「地域公共人材のための京都府内における教育・研修プログラムと地域資格制度の開発」事業は、そのような人材をオール京都で育てる教育や研修の抜本的な改革であり、その教育研修を受けた人材に資格を授与することで、個人の能力や資質を社会が認めて活用し、人々の自己実現の機会を大きく広げるための、京都発の野心的な社会改革のプロジェクトです。3カ年のプロジェクトはまだ始まったばかりですが、すでに精力的に調査研究活動が進められています。その成果にどうぞご期待下さい。

- >>01 表紙
あいさつ（富野 暉一郎）
- >>02 会議スケジュール
幹事会／運営協議会など
- >>03 海外調査
米国／英国／欧州
- >>04 国内調査
香川／高崎／東北
- >>05 FD 検討準備委員会
龍谷大学／立命館大学／
同志社大学／佛教大学／
京都橘大学
- >>06 オフィス情報
京都駅前オフィスの紹介
場所／設備／スタッフなど
- >>07 NOTICE
出版物・報告書発行
今後の予定など
- >>XX 編集後記

≫02 会議スケジュール

事業採択は、

2008年8月19日

○オフィス開所式（11月8日）



9月26日（金） 第1回運営協議会

会場：キャンパスプラザ京都6F

龍谷大学サテライト教室

内容：事業内容の確認、組織体制など

11月8日（土） 第1回幹事会

会場：日本生命京都三哲ビル 貸会議室8F

内容：オフィス開所式、今後の運営方針、ロードマップの確認など

○ポスターセッション（1月12日）



12月24日（木） 合同研究会

会場：キャンパスプラザ京都2F 第1会議室

内容：米英海外調査報告、地域公共人材開発機構の設立についての報告など

1月12日（祝） ポスターセッション

会場：パシフィコ横浜（みなとみらい）

平成20年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」は、文部科学省が国公私を通じた大学教育改革のための支援事業を一堂に集めた合同フォーラムです。そのポスターセッションに、「戦略的大学連携支援事業『地域公共人材のための京都府内における教育・研修プログラムと地域資格認定制度の開発』」の取組代表として龍谷大学が参加しました。（本事業は3区分のうち教育研究高度化型）⇒参考URLは下記、

<http://www.bunkyo1.org/2009/schedule.html>

○国際ワークショップ（3月8日）



1月22日（木） 第2回幹事会

会場：京都駅前オフィス 会議室

内容：立命館大学のオブザーバー参加、FD検討準備委員会、国内調査の計画など

2月3日（木） 第2回運営協議会

会場：京都駅前オフィス 会議室

内容：海外調査報告、FD・国内調査の調整など

3月7日（土） 国際シンポジウム

会場：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

3月8日（日） 国際ワークショップ

会場：龍谷大学深草学舎

内容：「職業資格およびプログラム開発について」
（講師：スティーブン・ハリス氏）

≫03 海外調査

●調査日程

アメリカ：11月11日～17日

イギリス：12月7日～12日

欧州：12月15日～17日

上記期間にわたり、21機関（アメリカ6、イギリス・欧州15）を訪問し、各地域の資格認証システムの現状を調査しました。

アメリカでは民間機関による教育プログラム認証、イギリスと欧州では資格開発と授与の仕組みに加え、学位資格と社会人教育資格の互換について特に収穫がありました。これらを折衷した日本型の地域資格制度の開発に向けた研究を今後も進めていきます。

※詳しい調査資料は、オフィスの本棚に所蔵しています。ぜひご覧ください。



NASPAA(米)



OCN(英)

	日程	訪問先
アメリカ	11月11日(火)	National Association of Schools of Public Affairs and Administration (NASPAA)
	11月12日(水)	University of the District of Columbia / School of Business and Public
	11月12日(水)	Howard University / Department of Political Science
	11月13日(木)	Carnegie Mellon University / The Heinz School of Public Policy and Management
	11月14日(金)	Columbia University's School of International and Public Affairs(SIPA)
	11月14日(金)	Baruch College, CUNY / School of Public Affairs
イギリス・欧州	12月8日(月)	Newman University College
	12月8日(月)	Birmingham City Council
	12月9日(火)	Chartered Management Institute
	12月9日(火)	Center for Urban and Regional Studies(CURS), University of Birmingham
	12月10日(水)	Open College Network
	12月11日(木)	Bourneville College
	12月12日(金)	Learning and Skills Council
	12月12日(金)	Regional Action West Midland(RAWN)
	12月12日(金)	The Institute of Local Government Studies(INLOGOV), University of Birmingham
	12月15日(月)	Qualifications and Curriculum Authority
	12月15日(月)	The National Council Voluntary Organization (NCVO)
	12月16日(火)	Qualifications and Curriculum Authority
	12月16日(火)	Office of the Third Sector
	12月17日(水)	Directorate General for Education and Culture
1月22日(木)	LANTRA(sector Skills Council) 【追加調査で訪問】	

※2009年1月の追加調査では、実務家のみなさんと共に再度イギリスの各機関を訪問しました。

≫04 国内調査

●調査日程

- 2月23日（月） 香川大学大学院地域マネジメント研究科
- 3月11日（水） 高崎経済大学大学院地域政策研究科
- 3月25日（水） 東北公益文科大学大学院
- 3月26日（木） 岩手県立大学大学院総合政策研究科
- 3月27日（金） 岩手大学大学院人文社会科学研究科

国内は5つの大学院を訪問調査しました。とりわけ地方の大学院は、大都市部に立地している大学院よりも、その教育プログラムに「地域性」を重視した特徴が多く見られます。はじめに訪問した香川大学も、企業等との連携にも積極的で、地域社会の中で活躍する人材の育成という視点が教育プログラムの内容にも表れており、参考になりました。どの大学もご多用中にも関わらず快く調査を受け入れてくださいました。ご協力ありがとうございました。



香川大学

≫05 FD検討準備委員会

●開催日程

- 2月24日（火） 龍谷大学「『新しい公共』を担う人材を京都から考える」
- 2月27日（金） 立命館大学「大学院GPと京都府市町村振興協会の人材育成」
- 3月2日（月） 同志社大学「社会人学びなおし事業『有機農業塾』の人材育成」
- 3月6日（金） 同志社大学「京都府地域力再生との連携事業」
- 3月9日（月） 同志社大学「社会人学びなおし事業の成果について」
- 3月10日（火） 佛教大学「佛教大学での地域連携、美山産官学公連携の取組み」
- 3月16日（月） 京都橘大学「『まちづくり』と『地域公共人材育成』」

FD検討準備委員会は、京都地域における新しい公共人材を育成するにはどのような仕組みが必要か、それを探るべく各機関が行っている人材育成の現状をご報告いただき、意見交換をするリレー形式の研究会です。2月と3月で、計7回が開催され、各大学の個性が際立つ会になりました。

同志社大学の委員会は、京町屋を改造したキャンパス「江湖館」（写真上）で、京都橘大学の委員会は、山科三条商店会にある「三条街道わくわくホール」（写真下）で開催しました。今後も、各大学の取組み・経験等を幅広く共有するために委員会を続けていきたいと思っております。みなさま、よろしくご参加、ご協力をお願いいたします。



京都駅前オフィスが開設しました！

京都駅前オフィスが、2008年11月8日に開設しました。

名称：地域公共人材大学連携オフィス（略称：大学連携オフィス）

➤ 設備 1：本棚

- ◎これまでの調査資料、各会議の議事録、FD検討準備委員会の資料など、関連する資料はすべて所蔵しています。
- ◎各連携大学の専用棚も備えていますのでご利用ください。



➤ 設備 2：机とPC

- ◎ビジター用に、机とPC(ノート、デスク各1台)備えています。
- ◎印刷、コピーも可。
- ◎オフィス内には無線LANも完備されています。

☞ コーヒー・お茶も
あります。

➤ オフィスアワー

平日 **9:15-17:45**

※上記時間内は事務職員・研究スタッフが常駐(但し、会議や出張等のため開いていない場合もございます)

※休日：土・日・祝(盆と正月は一斉休暇)

※オフィス自体は上記時間以外でもいつでもご利用できます(スタッフの対応不可)。

➤ スタッフ：事務職員1名、研究スタッフ2名

平岡 俊一(博士研究員) 常勤

村上 佳世(リサーチ・アシスタント) 非常勤

田村 瞳(龍谷大学教学部) 常勤

会議室としてもご利用いただけます。



10人程度の会議なら、オフィス内で会議・研究会が可能です。大規模の場合でも、同じ階の貸会議室を利用できます。

(写真は、立命館大学FDの様子)

ここです。



住所：〒600-8327 京都市下京区西洞院通塩小路上ル
東塩小路町 608-9 日本生命京都三哲ビル 8F

☆TEL：075-343-3301

☆FAX：075-343-3307

是非、ご利用ください。
(スタッフ一同)

》07 NOTICE

- 成果報告書など、関連書籍の出版情報も今後お知らせしていきます。
- 各資料は、現在でもオフィスに来ていただければすべてご覧になれますが、それらを総括した報告書を現在、作成しております。

編集後記

年度末の候、皆様い
かがお過ごしでしょう
か。私は十一月にこの
プロジェクトに参加し
てから、五か月がたち
ます。十二月は英国調
査、一月はポスターセ
ッション、二月と三月
は国内調査とFD検討
準備委員会とニューズ
レターと報告書作成の
日々で、気づけばもう
桜前線が北上している
ようです。昨日大学の
研究室を出て中庭にい
くと、五分咲きの桜が
ライトアップされてい
ました。その数日前、



東北地方で横殴りの雪
に襲われたことが夢の
ようです。「一本の桜の
木の中で、最初に開花
した花は、最後の一つ
が開花するまで絶対に
散らない」という義理
堅い話を聞きました。
真相はわかりません
が、そうであれば素敵
です。今週末は甘酒を
持って近所の桜庭に出
かけようと思います。
皆様、今年度はおつか
れさまでした。来年度
もますますのよき年を
お祈りしております。
(平成二十二年三月末日)

創刊号 平成21年4月1日 発行

編集・発行：地域公共人材大学連携オフィス（担当：村上 佳世）

〒600-8327 京都市下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町 608-9 日本生命京都三哲ビル 8F

TEL：075-343-3301 FAX：075-343-3307